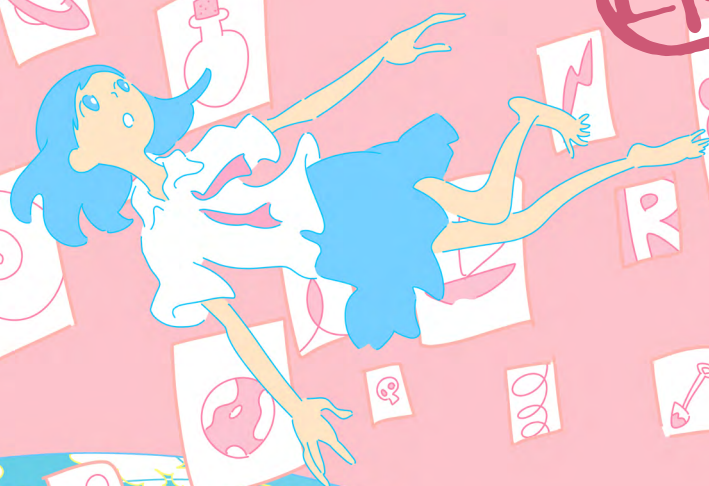


SCIENCE FICTION CONVENTION #59 @FUKUSHIMA

PROGRESS REPORT Vol.001



第59回日本SF大会



2020.08.22-23

FUKUSHIMA Bandai Atami Onsen
Hotel HANANOYU

福島のおいしいもの 菅浩江

買って帰ってよし、訪れて食べてよし

京都という盆地に住んでいると、旅行の際にはいつも山が気になる。上京すると、どこまでも建物が続く関東平野の広さに心細くなるくらいだ。

長野の山は青々と尖っていて、清涼な雰囲気。福島の山は、なんととはなしにポヤンとのどかな感じを受ける。もちろんそこで生活する人たちにとつての印象は異なるだろうが、私にとつてはテレビ番組『鉄腕ダッシュ』の「へダッシュ村」の幸せが大気に漂っているようにも思えるのだ。

浪江町のあの村に、今はもう立ち入ることができない。けれど、山の柔らかなシルエツトは、まだまだいいところやおいしいものをたくさん抱え込んでくれている。

まずインパクトが強いのは、福島県民のソウルフードとも呼ばれる「クリームボックス」。

けっして薄くはない食パンの上に、ミルク味の白いクリームがべったり塗ってあって、煉乳好きにはたまらない。見ただけでカロリィが摂取されてしまいそうなボリュームだが、存外べろりと食べられてしまうのがオソロシイ。

いろいろな店が製造している中、へロミオンが一番記憶に残るのは、パッケージデザイン優勝

利かと。

もう一つの定番は△三万石の「ままだおる」だ。こちらもミルクの風味がする、和洋折衷のおまんじゅう。京都で言うところの「華」に似た風味だ。

しつかり甘いのに重くなく、いくつも食べてしまえるのが、やはりオソロシイ。大分県の「さびえる」と並んで、私の中では「和洋折衷まんじゅう二大危険物件」として位置づけてある。

福島へ行くとき必ず買って帰るのがへかんのやんの「ゆべし」。包装も凝っていて、お土産にちょうどいいのだ。

だいたい私はモチモチ・ネチネチ系に弱いゆえ、モチモチ・ネチネチの代表たる「ゆべし」を通り過ぎることはできない。季節によって、クルミだけではなくサクラやユズといった限定商品が出るのもニクイ。

この地から携えて帰るべきものは、お菓子やお土産物だけではない。食材も素敵だった。

以前△三春の里に泊まった時、この売店や近隣の小さな店で、普段はあまり手に入らない地元ならではの食材をしこたま買った。



▲かんのやの「家伝ゆべし」



▲ロミオの「クリームボックス」

◀三万石の「ままだおる」

寒冷な地ならではの、大根や餅を凍ませたものがある。要するにフリーズドライの保存食だ。しっかりと乾燥されているので、調理すると味がよく染み、甘みも強い。

私が、次も是非買って帰りたいのは、イモのツルの乾物。うちの母は戦時中にイモのツルを食べていた経験が甦るとか言って好まないが、私は大好きだ。水で戻して煮付けると、いっぺんの青臭さもなく、乾燥ワラビのようなエグ味もなく、大地の滋味ばかりが広がる。凍み餅と一緒に、少し甘めに煮るのがベストの調理法だった。そうだ、次はこれに干し小エビを入れてみよう。きつとひっくり返るくらいおいしいに違いない。

同じ三春にある「ハーブガーデン」にも、是非行ってほしい。

私が訪れた時には、イングリッシュガーデンふうの野放図なハーブ畑に関連シヨップ、目玉は「サララ」のご当地ビュッフェという体だったが、現在は全体を「BRITOMART」という名前に変えて、テナントも充実しているようだ。

その「サララ」のビュッフェは健在らしいのが嬉しい。天井の高いカントリー調の店で、福島産の農産物や新鮮なハーブを使ったお洒落な料理がお腹いっぱい食べられる。

なかでも、自分でブレンドするハーブティにわくわくした。ローズヒップは酸っぱいから嫌いだけど、ちょっと赤くしたいからどうしよう、などと、チョイスがとても楽しい。

11時から16時までの営業なので、明るい雰囲気ですぐに昼食を食べたい時には絶対にここ。

きつとまだまだある福島県の名物。穏やかな山々の懐は深い。

そういうえば、馬刺し（私はタテガミが好き）もおもしろかった。

桃はまだ食していないし、会津のおそばも食べたい。こづゆという具だくさんの汁物は、いずれあちこちの店で食べ比べしたい。

これからこのブログレスレポートでも地元民の紹介記事が上がるだろうから、今からリストを作る気まんまんである。

……実は、食べたくても買いたくてももう叶わない、思い出ばかりの悲しいものもある。

駅の売店でも売っていたくらい有名だった、揚げたての「凍天」。

へ木乃幡という会社を作っていたのだが、震災の影響が今になって響き、自己破産してしまっ

た。ドーナツ生地の中に餡なしの草餅が入っていて、外はサクサク、中はネチネチ。油と餅という最強の組み合わせに緑の香り、上品な甘さが素晴らしいかった。

このような福島紹介を書く時には、絶対に第一位として取り上げようと思っていたのに、とてもとても残念だ。なんとか復活してほしいと願っている。

【参照 URL】

クリームボックス
[Wikipedia](#)

ままだおる／三万石

<http://www.sanmangoku.co.jp/Goods/mamadoru.html>

家伝ゆべし／かんのや

http://www.yubeshi.co.jp/fs/yubeshi/c/yubeshi_kaden

三春の里 田園生活館／三春まちづくり公社【福島県三春町】

<http://miharu-mk.com/management/miharunosato>

BRITOMART

<https://www.britomart.jp/>

Garden Restaurant Sarara (ガーデンレストラン サララ)

<https://www.kg-sarara.jp/>



▲三春の里 田園生活館

自主企画募集

F-CONでの自主企画を募集します。企画をやるぜという方はどしどしご応募下さい。

企画時間や場所に関しては場所に限りがありますので、ご希望に添えない場合もあります。

ご応募は、下記のフォームをコピーしてメール頂くか、公式サイトのお応募フォームから送信して下さい。

応募フォーム

- 企画名 []
- 企画内容 []
- 企画責任者 []
- Eメールアドレス [@]
- 電話番号 []
- 参加ゲストの有無 ゲスト有りの場合ゲスト名 []
- 参加予想人数 [] 名
- 場所の希望 [会議室/座敷(大広間含む)/自分の部屋]
- 質問 []

ボランティアスタッフ募集

大会スタッフの募集です。

募集するスタッフには2種類あります。

一つは、「企画スタッフ」企画準備からお手伝いしていただけるスタッフです。

これは大会そのものの準備段階からある程度の仕事を担当してもらいます。

なのでそれなりの時間をいただくことになります。

でも、やりがいはたっぷりとあります。地元でなく他の地域にお住まいでも連絡さえ取れるならば可能です。ネットの会議にも出席していただきます。原稿を書いたり各種企画の準備や連絡、ゲストへの出演依頼等やることはたくさんあります。

現在F-CONではこのスタッフが少ないので是非ともスタッフ参加をお願いします。

二つ目は、「当日スタッフ」当日のボランティアスタッフです。大会当日もしくは先日に設営や受付、各企画の運営を手伝っていただきます。1日だけでも大丈夫です。基本的には企画を見て楽しむ時間はありません。が、何事にも例外はあります(^_^;; SF大会に興味のある方は是非ともスタッフ登録してください。

未成年(18歳以下)でも大丈夫です。(でも保護者の許可は得てくださいね)

一緒に大会を作り上げましょう!

ご応募は、下記のフォームをコピーしてメール頂くか、公式サイトのお応募フォームから送信して下さい。

応募フォーム

- 氏名 []
- 年齢 []
- 住所 []
- Eメールアドレス [@]
- 電話番号 []
- スタッフの種類 企画スタッフ/当日スタッフ(1日目/2日目/2日間共)
- 質問 []

大会概要

- 開催日** 2020年(令和2年)8月22日(土)～23日(日)
前泊8月21日(金)、後泊8月23日(日)
- 開催場所** 〒963-1309 福島県郡山市熱海町熱海5丁目8-60「ホテル 華の湯」
<http://www.hotelhananoyu.jp/>
- 大会形式** 1泊2日の完全合宿型ですが、当日の日帰り参加も可能です。
大中小のホールや宴会場等を使用した会場は、
平面移動だけで各企画に参加できます。
また、企画によっては、各部屋や野外が会場になります。
- 参加費** 1泊2日(夕食、朝食付き)30,000円(大人・18才以上)
詳しい参加区分・参加費に関しては参加申込みをご覧ください。
当日の参加の申し込みは、当日窓口で受け付けます。
- お支払い** お振込先 ゆうちょ銀行
ゆうちょから 18210-39714131
他行より (店名)八二八店(店番)828(普通預金)3971413
口座名義 エフコン実行委員会 会計 ワタナベヤエコ
- 前泊・後泊** 「ホテル華の湯」にご宿泊いただく前泊後泊企画あります。
- 前泊オプションツアー<先着50人> 5,000円**
ふくしま復興関連施設、廃炉見学(調整中)
郡山集合10時予定
- 後泊オプションツアー<先着50人> 5,000円**
ふくしまSF&アニメツアー(円谷英二ミュージアム・福島ガイナ”さくら遊学舎”)
郡山解散17時予定
- 主催** 第59回日本SF大会「F-CON」実行委員会
協力 ホテル 華の湯

奥付

SNSでは随時情報を告知していきます。
なのでフォローやイネをお願いします。
ここでの質問などにもお答えしていきます。
なるべく迅速に！頑張ります。

twitter
https://twitter.com/SF_FCON

Facebook
[「F-CON」イベントページ](#)



[企画・発行] 〒963-7725 福島県田村郡三春町大字鷹巣字瀬山213番地
株式会社福島ガイナ内
第59回日本SF大会「F-CON」実行委員会

[問い合わせメールアドレス] sffcon@gmail.com [公式サイト] <https://sf-fcon.com>